

営農だより

金沢営農協議会
J A 金沢市
石川県農業共済組合

5・6月のポイント ～高品質金沢産米づくり運動10の推進技術～

- 中干し・溝きりは、田植え1か月後から実施 ○中干しの期間は、約1か月
- 畦畔・農道等の除草は5～6月にかけて実施し、7月上旬までに追加除草

中干しまでの水管理について

- 分げつの発生を促すため、晴天時は浅水管理とし、地温の上昇を図る。
- 田植後15日頃から中干し開始までの間に2～3回田干しを行い、土壌中のガスを取り除き、根の健全化を図る。
- 低温、強風、フェーン時は一時的に深水とし、苗を保護する。

中干し、溝切り：中干しは根の健全化と、無効分げつを抑える大切な作業です。

●中干しの開始の目安

田植後1ヶ月!! (山間地は田植後35～40日)

1株の茎数の目安

品 種	中干しの期間	60株植え	50株植え
ゆめみづほ	6月1日～30日	17～18本/株	21～22本/株
コシヒカリ	6月1日～7月5日	14～15本/株	17～18本/株
ひやくまん穀	6月5日～7月10日	14～15本/株	—

※中干しの期間は約1ヵ月。中干し終了後は、飽水管理。

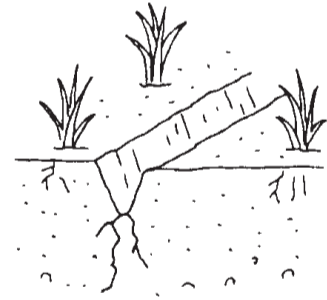
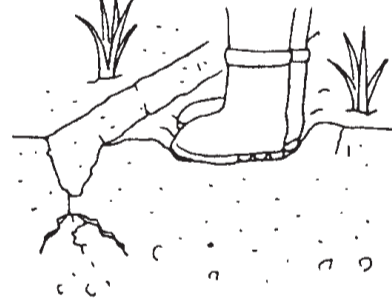
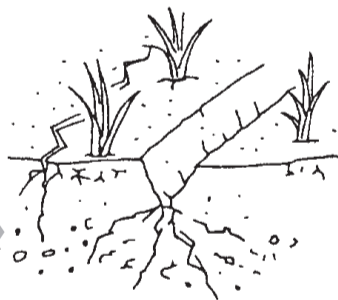
●中干しの程度

湿田では強いヒビ

半湿田には足がしずむ程度

乾田では弱いヒビ

5日程度
落水して
1日通水



3日程度
落水して
1日通水

●中干しの効果

- | | | | | |
|------------|---|-----------------------|---|---------|
| 1 元気な根づくり | → | 根腐れ・倒伏防止 | → | 登熟・食味向上 |
| 2 余分な窒素を抜く | → | 過剰生育抑制 | → | 乳白粒発生防止 |
| 3 田面を固くしめる | → | 収穫直前まで通水してもコンバイン作業は楽々 | | |

●溝切りの実施 (溝を水口・水尻につなげることで、入水・排水がしやすくなります。)

- ①溝切りは3～5m間隔に1本の割合で掘り、それらを枕地部分の溝でつないで圃場外へ排水。
- ②溝切りの実施時期は、中干し開始3日後を目安に行う。

スーパーけい酸の施用：倒伏防止・登熟向上・耐病性向上・根張り促進に効果あり!

資材名	施用量	施用時期
BBスーパーけい酸	20kg/10a	(早生) 6月10～20日 (中生・晩生) 6月15～30日

営農テレホンサービス実施中 (電話237-1117)

J A金沢市のホームページにも営農だよりを掲載しております。

「J A金沢市」で検索して下さい。

中干しの適期実施で、太い良質茎の健全な稲体を確保しよう。

中干しの目安は、田植後1ヵ月!!

病害虫防除：雑草防除を徹底してカメムシの生息密度を抑えよう！

●カメムシ斑点粒・着色粒発生防止対策

暖冬の影響でカメムシ類の発生が例年に比べて増加することが予想されます。
畦畔の管理や防除を徹底して実施しましょう。

～カメムシ防除をかねた畦畔沿い除草のポイント～

- ①畦畔・農道などの雑草防除は5～6月中に2回、7月上旬に1回行う。
- ②除草は、刈り取るか除草剤（ラウンドアップマックスロード又はバスタ液剤）を散布する。
- ③休耕田には、6月下旬にスミチオン乳剤（1,000倍）を散布し、カメムシの生息密度を下げる。
- ④長く伸びた雑草を7月中旬以降に刈り取ると、カメムシを水田に追い込むことになるので注意する。

※今後、斑点米の発生が懸念されるため、早生・中生・晩生品種に関わらず

- ①出穂3日前、②出穂7～10日後、③出穂14～17日後の防除が重要です。

●葉いもち・白葉枯病の防除

箱施薬剤を使用していない圃場では「オリゼメート1キロ粒剤」を6月10～15日に散布する。
※本田に残された補植苗は、いもち苗の伝染源となり、早期発生を招くので、早急に取り除く。

本田後期除草剤について：使用時期（収穫前日数）は必ず確認！

●ノビエの取りこぼしに

薬剤名	使用時期	使用量	注意事項
ヒエクリーン 1キロ粒剤	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1kg/10a	湛水状態で散布 遅効性だが抑草期間が長い 本剤の使用は1回のみ
クリンチャー 1キロ粒剤	移植後25日～ ノビエ5葉期まで (収穫30日前まで)	1.5kg/10a	湛水状態で散布 速効性だが抑草効果は期待出来ない 本剤の使用は2回以内
トドメMF 1キロ粒剤	移植後14日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	1kg/10a	湛水状態で散布 速効性だが抑草効果は期待出来ない 本剤の使用は3回以内

●広葉雑草の取りこぼしに

薬剤名	使用時期	使用量	注意事項
バサグラン粒剤	移植後15～55日 (収穫60日前まで)	3～4kg/10a	落水状態（足跡に水が残っている状態） で散布し、3日間入水しない 本剤の使用は1回のみ

●ノビエも広葉雑草も残った場合

薬剤名	使用時期	使用量	注意事項
レブラス 1キロ粒剤	移植後14日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	1kg/10a	湛水状態で散布 本剤の使用は1回のみ
アトトリ 1キロ粒剤	移植後20日(稲5葉期以降) ～ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1kg/10a	湛水状態で散布 本剤の使用は1回のみ
ワイドショット 1キロ粒剤	移植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	1kg/10a	湛水状態で散布 本剤の使用は1回のみ

栽培履歴記帳を忘れずに!!

不明な点はJA金沢市、県央農林総合事務所(電話239-1751)へお問い合わせ下さい。

農薬・除草剤は登録された使用方法を守りましょう。

農薬は、飛散防止に気を付けて散布しよう。